

市内・市外1,700人に聴きました!!

# いまの「小諸」はどんなイメージ?

## 「小諸ブランド」実態調査

「食」と「農」を中心とした①小諸のイメージ把握・②小諸のイメージに関する課題抽出を目的として、「小諸市民」及び小諸近隣で観光客が多く、親和性が高い「軽井沢観光客と別荘所有者」、さらに人口が多く新鮮な状態で農作物を運輸できる範囲にあり、小諸の農ブランドファンとなる可能性がある「首都圏在住者」に対して、アンケート調査を実施しました。

※調査対象/方法/人数 (A)小諸市民/郵送調査(無作為抽出)/1,000名、(B)軽井沢観光客/Web調査/300名  
(C)軽井沢別荘所有者/Web調査/100名、(D)首都圏在住者/Web調査/300名



### ポジティブ（前向き）なイメージ

#### 1 小諸のイメージ

- 【A】 観光資源があるイメージ。
- 【B・C】 のどか・景色が良い・古い町並み・歴史を感じるなどのイメージ。

#### 2 小諸の「食」と「農」に関わる資産のイメージ

- 【A】 高原野菜、高原の果実の魅力度や購入意向が高い。
- 【B】 認知している食資産は少ないが、全体的に魅力度と飲食意向は高い。果物、そばは5割が認知し、そのうち9割が魅力に感じている。
- 【C】 小諸の郷土料理に対して「伝統・技術が伝承されている」というイメージがあり、小諸の食資産全体に対して、魅力度も飲食意向も高い。
- 【D】 果物・高原野菜・そばが他の食資産に比べると認知度・魅力度ともに高い。



### ネガティブ（後向き）なイメージ

#### 1 小諸のイメージ

- 【A】 町は「寂れている」、飲食店は「活気がない」イメージ。
- 【D】 小諸の認知度は60歳代以上からは7割と高いが、全体では約4割にとどまる。

#### 2 小諸の「食」と「農」に関わる資産のイメージ

- 【A】 食資産全体の魅力度・飲食意向は低い。
- 【B・C・D】 信州に対する食のイメージは広がっているが、小諸には食のイメージの広がりが見られない。
- 【C】 市民に認知されている「いちご」、「白土馬鈴薯」の認知が低い。
- 【D】 小諸の農産物・加工品・飲食店に対して明確なイメージがない。「小諸=そば」というイメージをもっているが、そばで有名な地域はという聞き方をすると、信州や長野は上位に上がるが、小諸はほとんど「そば」から連想されない。



## 親子で作ろう！食育レシピ ～伝えていこう地域の味～

市内の小・中学校では、小諸・佐久地方に伝わる郷土料理を「信州を味わう日」の給食のメニューに取り入れ、子どもたちに伝えています。

### 『おにこじ』

#### 【材料】（4人分）

- ・大根120g
- ・じゃがいも80g
- ・人参30g
- ・さつま揚げ40g
- ・凍み豆腐（乾）1枚
- ・こんにゃく1/4枚
- ・炒め油 小さじ1
- ・酒 大さじ1
- ・しょうゆ 小さじ2
- ・みりん 小さじ1
- ・三温糖 小さじ2
- ・だし汁（昆布・かつお）適量

#### 【作り方】

- 1 凍み豆腐は、ぬるま湯でよく戻しておく。
- 2 材料はすべて拍子木切りか短冊切りにする。
- 3 凍み豆腐以外の材料を油で炒め、だし汁を入れて煮る。
- 4 柔らかくなったら、調味料で味をつける。
- 5 汁気があるうちに凍み豆腐をいれて煮含ませる。

### 【受講者募集】

## ももの魅力再発見セミナー

もも栽培に意欲のあるIターンやUターン、定年等による帰農者の皆さんを対象に、もも栽培に必要な知識と技術を身に付けていただくためにセミナーを開催します。

◆対象者 JA佐久浅間管内で、もも栽培を中心とする農業経営をめざす方

- (1) 定年前から、もも栽培をめざして技術習得されたい方（退職予定者）
- (2) 定年、Uターン等により本格的なもも栽培をめざす方（就農後3年未満の方）

◆定員 30名（先着順）

◆申込期限 1月31日(火)



◆申し込み・問い合わせ先

佐久農業改良普及センター ☎0267-63-3168

JA佐久浅間あさま西部営農センター

☎22-0954

※「信州を味わう日」：市では、6月～3月の間で月1回行っています。